

ESD 演習 I (環境経済学 I)・ESD 演習 II (環境経済学 II) の履修について

～シナリオプランニングを学ぼう～

担当:小島 理沙

◆履修対象：2016～2024 年度入学者 ※高度教養科目

－ 履修者募集要項 －

シナリオプランニングとは、不確実な未来に備えるために「複数の起こりえる未来」を体系的に描き、それぞれに対する戦略を検討する手法です。将来を一つに予測するのではなく、社会・経済・技術・環境などの変化要因を整理し、異なる未来像を構築することで、意思決定の質を高めます。この手法は 1970 年代にエネルギー企業のロイヤルダッチシェルが活用し、オイルショックに適応したことで広く知られるようになりました。

国際情勢の不安定さ、気候変動等のリスクが増加しており、企業の経営環境の不確実性が高まっていますが、企業は、単一の予測に依存するのではなく、複数の未来を想定しながら戦略を構築することが求められます。本演習では、実際の企業（花王）が直面している資源循環分野のビジネス環境をテーマに、未来の外部環境を構造化し、複数のシナリオを構築していきます。授業は、グループワーク等を中心としたディスカッションスタイルを進めます。サーキュラーエコノミー、環境経営、シナリオプランニングに関心のある学生の履修を募集します。尚、実務家教員の外部講師がシナリオプランニングの手法論等を指導し、担当教員がメインテーマの指導やグループワークの進行を行う 2 名体制で進めます。

●ESD 演習 I (環境経済学 I) ・ ESD 演習 II (環境経済学 II)

E S D 演習 I 2026 年度前期セメスター (火曜 2 限対面)

講義を含む座学とフィールド演習、グループワークを行います。

E S D 演習 II 2026 年度夏期集中

8 月 18 日 (火)、9 月 3 日 (木)、9 月 4 日 (金) 各 5 コマ

【履修者への注意】

1. グループワークがあり運営上の観点から、E S D 演習 I ・ II の履修者数の上限を 20 名とする。履修希望者が上限を超えた場合は、ESD コースの趣旨から、ESD 演習 I ・ II 両方の履修が可能か、所属学部、学年の多様性及び、主体的取り組みを重視し選考する。
2. 履修希望者は、全員履修の動機、この演習で何を得たいのかについて、科目ごと (E S D 演習 I ・ II) にそれぞれ 400 字程度のレポートを提出すること。
3. 演習の性質上、グループワークと個人ワークの積み上げにより成果物が作成されていく関係で、ESD 演習 I と II は連動していることから、ESD 演習 II からの履修はご遠慮ください。
4. レポートは 3/10(火) ～3/30(月) 17:00 までに ESD 回答フォームに送信すること 履修が認められた場合は自動的に履修登録されるので、4 月 3 日 (金) にうりぼーネットで確認すること。履修登録確認表に載っていない場合は、履修が認められなかったことを意味する。
5. 詳しい授業内容・成績評価方法は、シラバスを参照すること。
6. E S D 演習 II は、2026 年 9 月卒業予定者の卒業要件には算入されません。